

「ものづくり」の夢を語ろう

機械加工の技術革新と夢の実現に向けて

今回の産学交流サロンでは、工作機械や加工における最新技術を紹介し、革新を促進する取組を解説します。精度向上や新技術、高能率加工技術を専門家が説明し、企業・研究者との意見交換を通じて未来のものづくりに向けた知見を深める機会です。機械加工企業の皆様、是非ご参加ください。

日時 2025年 **2/27(木)** **【講演】** 14:00～17:00
【交流会】 17:20～18:00

会場 横浜情報文化センター 11階 IDEC横浜大会議室
(横浜市中区日本大通り11)

参加費 市内企業：1,000円<税込>/1名 市外企業：2,000円<税込>/1名

※当日会場にて現金にて受付けます。

※横浜知財みらい企業、IDEC横浜施設入居企業、横浜型地域貢献企業、「横浜ものづくり企業ガイド2024-2025」掲載企業は参加費が無料となります。ただし、上記無料対象かつ複数名でのお申込みの場合、無料対象は1名とします。

先着
30名

神奈川大学 工学部 機械工学科 教授 中尾 陽一 氏

14:00
|
15:00

「工作機械における熱変形特性と精度低下の抑制について」

工作機械は母なる機械、マザーマシンとも呼ばれています。機械を作る機械という意味ですが、機械に限らず私たちの身の回りには、工作機械で作られた多くの品物が使われています。高い加工精度を実現するためには、それに見合った高性能な工作機械が必要です。昨今、加工精度を低下させる主要因の一つである工作機械の熱変形対策が重要になっています。本講演では、研究室で行っている工作機械の熱変形や冷却、温度制御に関する研究状況をご紹介します。



株式会社ジーベックテクノロジー

15:00
|
16:00

「バリの基礎とバリ取り自動化ツールについて」

バリ取りは一見地味に思われがちですが、製品の品質や生産効率に密接に関わる重要な工程です。バリを放置すると、不良品や機械トラブルを招き、手作業では負担が大きく、品質のばらつきも課題となります。バリ取りの自動化により、効率化や高精度な仕上げが実現し、人材不足の解消やコスト削減にもつながります。本講演では、バリの基本から、バリ取り自動化のメリットや活用事例についてご紹介します。



IDECものづくりコーディネーター 鹿田 洋 氏

16:00
|
17:00

「切削の常識を打ち砕く 加工能率30倍の実現」

本講演では、鋼や難削材の高能率加工を実現する革新的な切削技術について、従来の常識を打破し、加工能率を最大30倍向上させる方法等を解説・紹介します。工具材料や形状、そして最適な加工条件を組み合わせることで難削材の高能率加工が可能となり、生産性向上(コスト削減)と品質向上を同時に実現できます。穴あけ・エンドミル加工・正面フライス加工・旋削の実際の事例を通じて、その効果を具体的に示します。



【お問合せ先】

(公財)横浜企業経営支援財団

経営支援部イノベーション支援課

Mail: mono@idec.or.jp TEL: 045-225-3733

お申込みは
こちらから

